

略 歴

草野芳郎(くさの よしろう)

経歴

1968年 司法試験合格

1969年 九州大学法学部卒業

1969年 司法修習生(23期)

1971年 判事補任官、1981年 判事任官

松江、横浜、行橋、福岡、宮崎、東京、小倉、さいたま等の各裁判所で勤務

2002年 鹿児島地方・家庭裁判所 所長

2003年 広島高等裁判所判事(部総括)

2006年 広島高等裁判所判事依願退官

2006年 学習院大学法学部教授

2013年 東京弁護士会に弁護士登録(矢吹法律事務所)

2016年 学習院大学法学部教授停年退職

専門分野

民事訴訟法、民事訴訟実務、和解、調停、法交渉学、インドネシア法

学会活動

民事訴訟法学会、法社会学会、仲裁・ADR法学会(2013～2016年まで理事長)、司法アクセス学会(監事)

著書

・和解技術論(信山社、1995年初版、2003年第2版) JICAによる英訳がある。インドネシア語訳「WAKAI」、韓国語訳「화해기술론」。中国語訳「調解技術論」を出版。

・新和解技術論(信山社 2020年)

編著

・民事裁判と裁判実務(第1巻) 不動産登記(ぎょうせい、1996年)

・ロースクール交渉学(白桃書房、2005年、2007年第2版)

・高齢者支援の新たな枠組みを求めて(白峰社、2016年)

「ADRの活用の可能性—ADRを活用した高齢者支援の連帯の輪」執筆部分